

平成27年度 事業計画

安倍内閣は、強い経済を取り戻すため、政策運営は経済最優先として三本の矢の経済政策を実施してきました。その結果、経済の好循環が生まれつつある中、昨年末の総選挙でその成長戦略に対して国民の期待が示されました。第三次安倍内閣は、デフレ脱却のチャンスを実確なものとするため、経済の好循環の流れを回し続け、景気回復の波を全国津々浦々の地域に及ぼせるべく、アベノミクス成長戦略を推進しています。

総合経済団体として宝塚商工会議所は、行政と連携し総動員される政策を、多種多様な企業に広く遍く浸透し、中長期的な経営の安定、成長を実確なものとし、このチャンスを活かして地域経済の成長、発達、支援に向けて実行あるのみとの決意で取り組み、会員ひとりひとりの集団の力で元気な宝塚を創ります。

さらに、このまま人口減少社会に入れば、疲弊する地域経済はますます縮小し、地域の中小企業・小規模事業者の活力はますます失われていきます。こうした状況から脱却し、持続的な成長・発展を遂げていくためには、当会議所も地方創生のため、市民・行政・大学・企業などと連携し、地域の課題解決に取り組んでまいります。

商工会議所会員の、そして、地域の未来に希望を持ち、個性豊かな地域社会を実現するためにも、重点事業を中心に具体的事業を展開し、組織基盤の確立を図り、「成長戦略」に挑む企業を強力に支援してまいります。

どうか会員の皆様には、当期の事業目標をご理解いただき、一人でも一社でも仲間に加わっていただいて集団の力が発揮できるよう力添えをお願いいたします。

1. 「だいすき宝塚」の推進と地域特性を活かした商工業の振興対策

(1) <重点事業> ワンコイン de スタンプラリー2015 ～ 継続

会員や市民（消費者）からの本事業の継続や発展的な展開を希望する声に応え、昨年度の実施内容をさらにブラッシュアップすることを検討する。消費を喚起し「お買い物は宝塚で」運動を強力に推進する。

(2) <重点事業> マンガで宝塚の魅力を新発見！ ～ 新規

フリーペーパーやチラシなど通常の広告媒体からストーリー性を加味した新たな媒体として「マンガ」で情報発信に取り組む。比較的市内利用頻度の低い20～30代のターゲット層に性別を問わず訴求でき、気軽に市内店舗等の魅力を発見できるようにすることで、市内消費を活性化させる。

(3) <重点事業> 異業種交流活性化支援事業

～ 継続

①宝塚名産販促・開発事業

宝塚すみれシャンメリーの1本入り包装パッケージ(紙缶予定)を制作し、ギフト化への本格的な手順に着手する。

専門家を交えた調査・研究結果の実施及び試作品から完成品への昇華作業を行い、WEB等を用いてPR・市内販路開拓を行うとともに市外販路・イベント出店・アンテナショップ取扱等の開拓を進め、知名度・販売本数を収益ベースに乗せていく。

②宝塚新商品開発プロジェクト

平成28年度に開通予定の新名神高速道路「宝塚サービスエリア」で販売する新たな商品を開発する。また、今回新たに開発する新商品を土産品としてだけでなく、その素材を活かし、洋菓子店や飲食店等でも応用できる素材も併せて開発する。

(4) 小規模事業者・中小企業の経営基盤の確立／認定機関として機能を充実

経済社会構造の変革に備えた各種制度の活用を促進支援する。ものづくり・新サービス等事業革新支援、創業・起業支援、第二創業支援、販路開拓など、中小企業の新商品開発や経営合理化並びに設備近代化、生産性向上の促進について支援する。さらに、国・県・市の各種制度融資を活用した経営相談の実施と小規模企業等経営改善資金融資の斡旋を強力に推進する。

(5) 商業の振興

商業部会会員間の交流促進と、各個店の魅力の創出を目的に「ワンコインdeスタンプラリー」への積極的な参加や「プレミアム商品券」の取り扱いを推進する等「にぎわいのある商店街づくり」の実現にむけ支援する。また、個々の事業所の連携により部会内の会員増強を推進し、商業活性化へと繋げていく。

(6) 工業の振興

市内工業事業者が共通に抱える課題を解決すべく、積極的に情報交換等を行い、操業環境の改善や懸案である住工混在の解消に向けて調査研究をし、真に効果のある工業振興に資する事業を展開する。

(7) 観光の振興と地場産業の振興

多くの観光客に定着しているイメージに応える「観光」と、良い意味で期待を裏切る「観光」それぞれを両立させることが課題。個性豊かな地域資源の発掘や活用を目的とする「モノ・コト・バ」選定事業と連携し、観光の振興と地場産業の振興を支援する。

(8) 雇用対策事業の推進

2. 会議所の運営ならびに会議所体制の確立

(1) <重点事業> 会員増強

～ 継続

地域創生の根幹は強い地域経済を構築すること、そして地域全体が未来に希望を持ち浮揚感を共有することです。そのような状況を実現するために、一人でも一社でも仲間に加わっていただき、知恵と力を結集し、皆で協力し「新しい価値を生み出す」ために積極的に会員増強に取り組みます。

(2) 会議所体制の確立

- ①会員向け事業の充実と会員増強
- ②委員会・部会活動の充実と諸施策への反映
- ③青年部・女性会の組織強化と事業の育成・支援
- ④事務局体制の改善

(3) 積極的な意見・要望活動の強化

商工業の健全な発達を促す環境改善のため、国・県・市等関係機関に対する積極的な意見・要望活動を実施し、懇談会等を通じて実現をめざす。

組織内においては、部会活動の充実を図り、積極的に意見集約に努める。

(4) 広報・広聴活動の強化

所報の充実を図り、市民に顔が見える商工会議所づくりのため所報、ホームページの充実と努めるとともに、施策普及パンフレット等各種刊行物の発行により広報の強化に取り組む。

(5) 関係機関との連携強化

日商・近商連・兵商連との連携強化はもとより、宝塚・尼崎・伊丹・西宮の阪神間4商工会議所における施策情報の交換や共同事業の実施により連携を強化する。

(6) 調査・研究活動

- ①各種調査・研究活動の強化
 - ア. 日本商工会議所L O B O調査（早期景気観測調査）への参加と活用
 - イ. 会員ニーズの調査
 - ウ. 宝塚産業振興における調査研究
 - エ. 環境問題や廃棄物の処理に関する調査・研究
- ②商工関係図書の実用と利用並びに各種統計資料の収集
- ③業務受託等収益事業の調査・研究

(7) 特定商工業者関係 法定台帳の作成・管理と運用

(8) 商工会議所会館の管理・運営

会館の貸会議室の利用促進と会館施設の維持管理・運営強化

3. 小規模事業者等に対する経営支援

(1) <重点事業> 創業・第二創業支援（地域ビジネス創出支援事業等）

起業を考えている人を対象としたセミナーを4日間開催する。経営、財務、人材育成、販路開拓など起業・経営に必要な知識を習得し、また既に起業した人との交流の場も設け、ビジネスプランのブラッシュアップを支援する。併せて、「創業お役立ちリーフレット」として、起業の際に取引が予想される業種で希望する会員事業所一覧を作成することで、起業時の取引先探しを円滑化させ、市内取引を活発化させる。

また、漠然と起業に関心を持つ人を対象としたセミナーを1日開催し、起業をめざす人の数の底上げを図る。

(2) <重点事業> 相談指導体制の充実

①窓口相談の充実

ア. 経営指導員による小規模事業者の経営相談並びに支援

（金融、税務、経営、労務、経理、記帳指導、消費税対策 等）

イ. 地域プラット・フォーム関係各機関との連携

（専門相談員の派遣・企業診断・経営指導の斡旋）

②巡回相談の充実

ア. 経営指導員による担当地区の企業及び団体への経営支援の強化

イ. 巡回記帳継続指導

(3) 事業承継支援

(4) 講演会、研修会、研究会の開催

(5) 工場・商店・市場・商店会等の企業診断の実施

(6) 小規模企業等経営改善資金融資制度（マル経）等各種融資制度の効果的な運用、並びに公的金融機関への斡旋

(7) 経営革新計画策定等支援事業の実施（認定支援機関）

(8) 国・県の各種小規模事業者支援事業の推進

(9) 商工業に関する取引の照会・斡旋と販路拡張への支援

(10) その他小規模企業経営改善普及事業に関する施策の調査・研究

4. 地域開発対策への対応と促進支援

- (1) 新名神高速道路に係る S A ・ S I の活用と経済効果の調査研究
- (2) 新まちづくり三法への対応と中心市街地活性化への支援
- (3) 「宝塚市・池田泉州銀行・宝塚商工会議所産業振興連携協定」に基づく地元企業の支援

5. 国際交流事業と貿易振興対策

- (1) 国際交流事業への参加と斡旋
- (2) 貿易関係諸証明の発給

6. 技能向上対策

- (1) 各種検定試験の実施
珠算、簿記、日商 P C、福祉住環境コーディネーター、カラーコーディネーター、
ビジネス実務法務、環境社会検定 (eco 検定)、ビジネスマネージャー
- (2) 講習会の開催
- (3) 各種専門学校・専門識者・専門業者と連携した技能向上事業の推進

7. 市民との協働事業の取り組み

- (1) 市民との協働事業創出の研究
- (2) N P O との連携強化
- (3) 企業活動と市民活動との協働促進
- (4) 会員と市民とをつなぐ講習会・イベント等の開催

8. 各種共済事業の取り組み

- (1) 各種共済の普及と加入促進
生命共済、特定退職金共済、県火災共済、県経営者共済、P L 保険、団体自動車保
険、県ファミリーパック、全国経営者年金共済、休業補償プラン、業務災害プラン、
自動車事故費用共済、自動車共済、個人情報漏えい賠償責任保険等への加入促進
- (2) その他共済制度の普及に対する調査・研究

9. 福利厚生並びに文化事業対策

- (1) 健康診断受診支援事業の実施
- (2) 会員交流ゴルフコンペ、会員交流ボウリング大会、宝塚大劇場公演観劇あっせん、阪神競馬場特別観覧会、映画鑑賞会の実施

10. 栄典並びに会員相互の親睦対策

- (1) 各種表彰制度に伴う被表彰者の推薦
- (2) 会員企業特別表彰の実施
- (3) 役員・議員表彰の実施
- (4) 商工優秀・優良従業員表彰の実施
- (5) 永年経営功労者表彰の実施
- (6) 会員企業周年表彰の実施
- (7) 宝塚市新年互礼会の開催